
お墓建立費用、全国平均額 167.3 万円、昨年よりも 3.1 万円ダウン**最も高いのは九州で 222.09 万円、最も安いのは北海道で 133.87****全優石の「2017 年版 お墓購入者アンケート調査」結果発表****1 都 3 県では、洋型お墓が 67.0%、和型はわずか 18.2%に**

北海道から沖縄まで、全国の優良石材店約 300 社で構成する墓石業者の全国組織「一般社団法人 全国優良石材店の会」（略称・全優石、会長・吉田剛、事務局・東京都品川区）が実施した「2017 年お墓購入者アンケート調査」の最終結果がこのほどまとまった。この調査は、今年 3 月 1 日～5 月 31 日の 3 か月間に、全優石に加盟する全国の石材店で実際にお墓を購入した人を対象に、郵送法（郵便による自記式調査）で実施した。実際にお墓を購入した人に対する全国規模での調査で、有効回答数は 2,423 名。お墓購入者の実態や意識を知る上で最大規模の調査である。2004 年から毎年春に実施していて、今年で 14 回目、年次推移も把握できる。以下が調査結果の主なポイント。

- 墓地と墓石を「同時新規購入」は全国で 45.3%。お墓を建立した人の約 2 人に 1 人は、墓地も新規購入していることになる。特に関東、1 都 3 県では新規購入者が多く、中でも民営墓地購入が多いのが特徴。近畿以西では「地域や共同体の墓地」の比率が高い。
- 建てたお墓の形を全国でみると、「伝統的な和型」は減少して 37.6%である。シンプルな洋型が 44.1%、デザイン墓が 13.4%となった。
- 調査開始の 2004 年からの推移でみると「伝統的な和型」が 66.5%から 28.9%減少し 37.6%に、「シンプルな洋型」が 22.7%から 21.4%増加し 44.1%に、「デザイン墓」が 6.1%から倍増して 13.4%になった。
- 関東、特に 1 都 3 県では、洋型 67.0%と 7 割近くを占め、和型は 18.2%に減少している。洋型にデザイン墓を合わせると約 8 割を占める。
- しかし地域別にみると、北陸で 67.7%、近畿で 78.2%、中国で 75.9%、四国で 82.4 と西日本では、伝統的な和型への根強い支持が窺われる。西日本では、比較的自由な民間墓地が少なく、「地域や共同体の墓地」が多いことも影響していそう。
- 墓地取得費用を除いた墓石の購入金額は、100 万円～200 万円台が最も多く 46.6 %と半数弱を占める。次いで、50 万円～100 万円が 24.8%、200 万円～300 万円が 17.4%であった。

- 次に平均購入価格を計算してみると、全国平均で 167.3 万円となり、昨年の 170.4 万円よりも 3.1 万円のダウンになった。
- 墓石タイプ別では、デザインのお墓が最も高く 181.53 万円、次いで伝統的な和型のお墓で 174.01 万円、タイプ別で最も安いのがシンプルな洋型で 157.92 万円となった。
- 地域別にみても、お墓が最も高いのは例年通り九州で 222.09 万円、次いで四国で 189.71 万円、1 都 3 県の 175.22 万円、関東の 170.72 万円の順で、安いのは北海道の 133.87 万円、中国の 151.04 万円であった。最も高い九州と最も安い北海道では 88.22 万円の格差がある
- 墓石選びで重視したことはという複数回答に対しては、全国では①石の色、②石の材質、③価格の手頃さがあげられた。関東以北では「石の色」、「価格の手頃さ」、「石の材質」がポイントで、北陸、中部以西では「アフターサービス」、「耐久性」や「国内産の石」へのこだわりが伺われる。
- 「墓石を購入する際に参考にした情報は」の複数回答に対し、圧倒的に多かったのは「石材店のアドバイス」があげられた。滅多に経験しないお墓づくりでは、歴史と、知識、実績のある専門業者、石材店が最も頼りになる情報源となっている。次いで「墓地に行って他の墓石を参考にした」があげられた。わが目で見学、確認し、お墓づくりのイメージを膨らませる傾向は年々強くなっている。
- 今回初めて設定された質問項目である、「子が親のお墓を建てる事について」どのように思うか尋ねてみると「当然だと思う」が半数弱の 46.5%、「そうは思わない」が 23.2%、「わからない」が 28.7%であった。

以上の件に関する取材のお問い合わせは

■一般社団法人 全国優良石材店の会 事務局長 山崎 正子(携帯電話 090-2669-5667)
東京都品川区上大崎 3-8-5 IR ビル 6 階 (〒141-0021)
電話 03-5423-4014 FAX 03-5423-4050

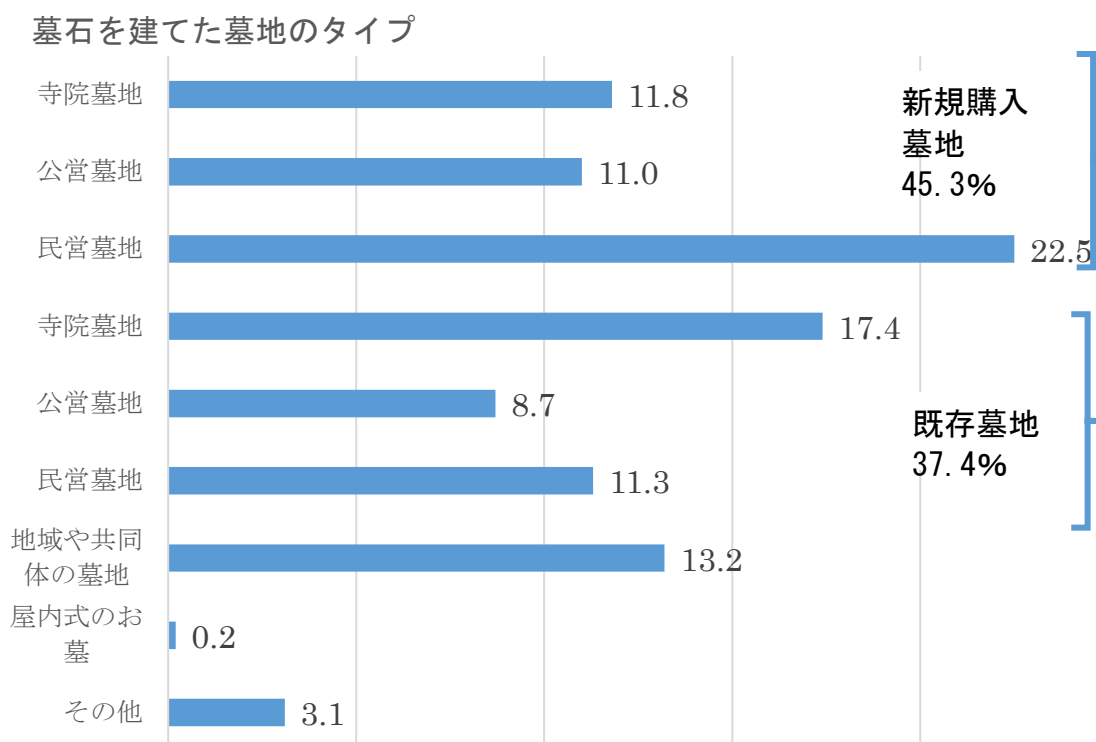
■インフォメーションセンター 佐々木 勉(携帯電話 090-4729-0545)
東京都中央区銀座 1-22-10-401 (〒104-0061) 電話 03-3563-3181 FAX 03-3562-5267

※詳しい調査内容全文は

<http://www.info-ginza.com/zenyuseki/>で閲覧、ダウンロードできます。

**「墓地と墓石を同時新規購入」が全国で 45.3%
関東、1都3県では新規購入民営墓地が多い**

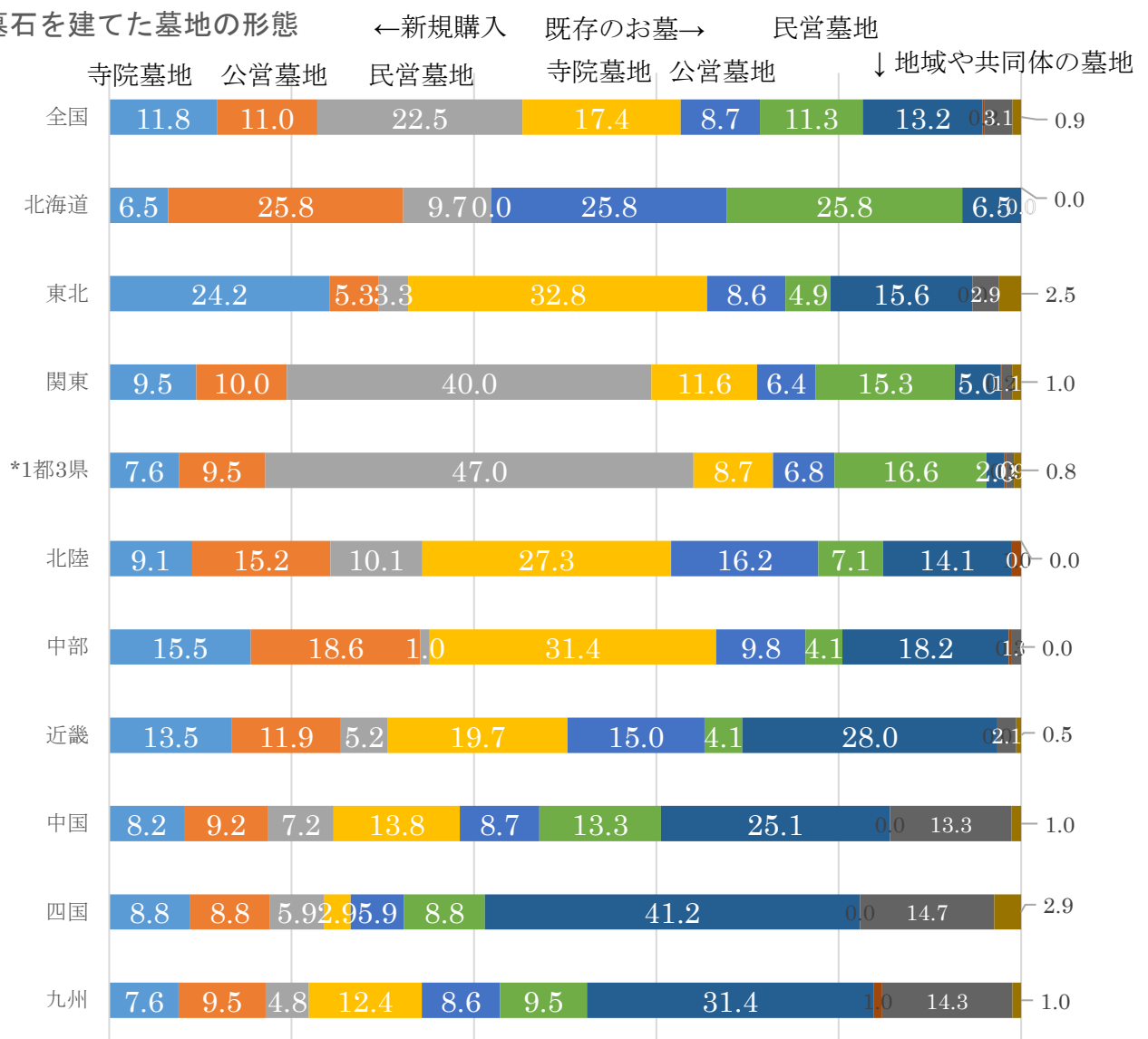
まず、最初に墓石を建てた墓地の形態からみると、「新しく購入した墓地」（寺院、公営、民営含み）が 45.3%、「すでにあった墓地」（寺院、公営、民営含み）が 37.4%、「地域や共同体の墓地」13.2%、「屋内式のお墓」0.2%であった。



地域別の傾向としては、関東ではお墓を建てた人の新規購入墓地の比率が高く 59.5%、1都3県では 64.1%になる。その中でも特に「民営墓地」が関東に多く 40.0%、1都3県ではほぼ半数の 47.0%にのぼる。北海道では圧倒的に既存墓地が多く 51.6%を占める。北陸、近畿、中国、四国、九州など西日本でも既存墓地比率が高く、また四国、九州は地域や共同体の墓地の比率が高い傾向にある。

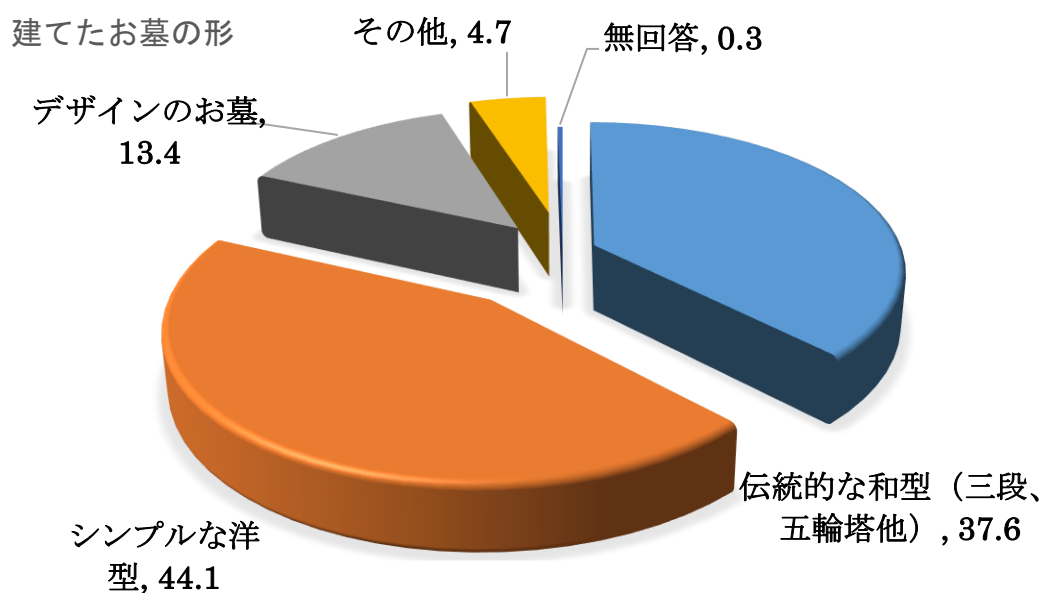
さらに具体的にみても、北海道で最も多いのは「すでにあった公営墓地」と「すでにあった民営墓地」でそれぞれ 25.8%、東北では「すでにあった寺院墓地」が最も多く 32.8%、関東、1都3県では「新しく購入した民営墓地」が最も多く、それぞれ 40.0%、47.0%である。北陸、中部では「すでにあった寺院墓地」が最も多く 27.3%と 31.4%、近畿以西は中国、四国、九州ともに「地域や共同体の墓地」が最も多く、28.0%、25.1%、41.2%、31.4%であった。

墓石を建てた墓地の形態



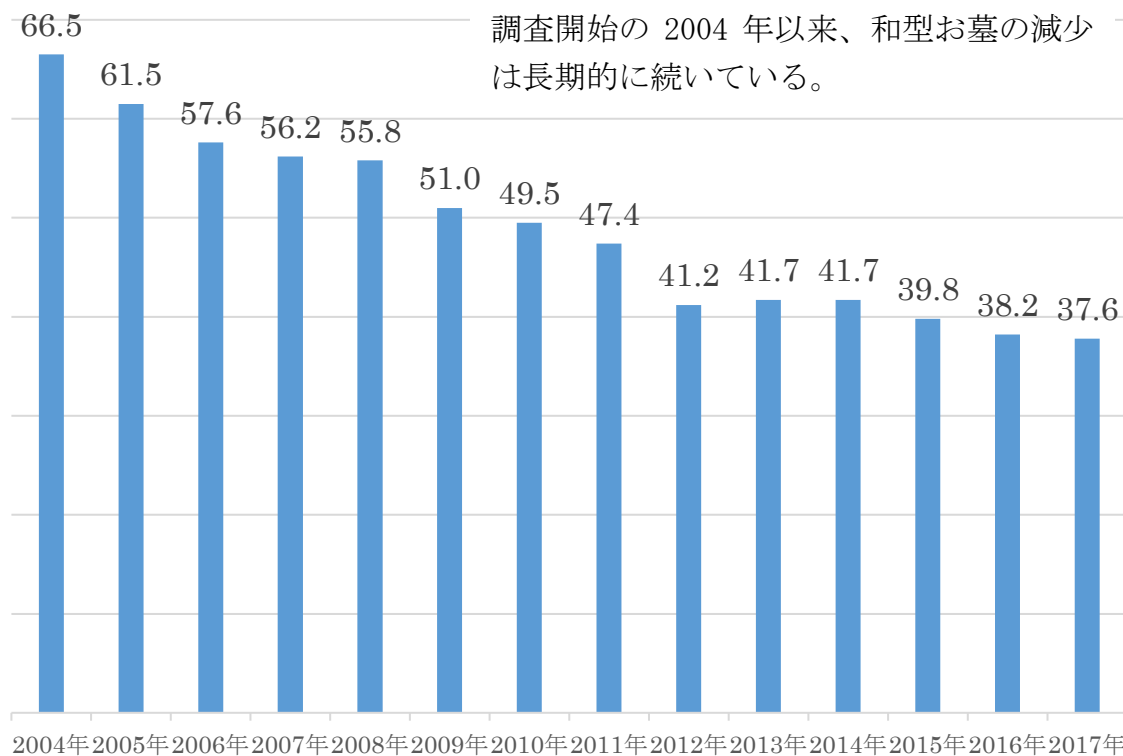
全国で伝統的な和型が 37.6%、シンプルな洋型が 44.1%
1 都 3 県、関東では 6 割以上が洋型
北陸、近畿、中国、四国など西日本で依然として和型が主流

建てたお墓の形を全国でみると、「伝統的な和型」は 2010 年以來半数を割っているが今年 は 37.6 % となった。「シンプルな洋型」は 44.1、「デザイン墓」は 13.4% と微増した。

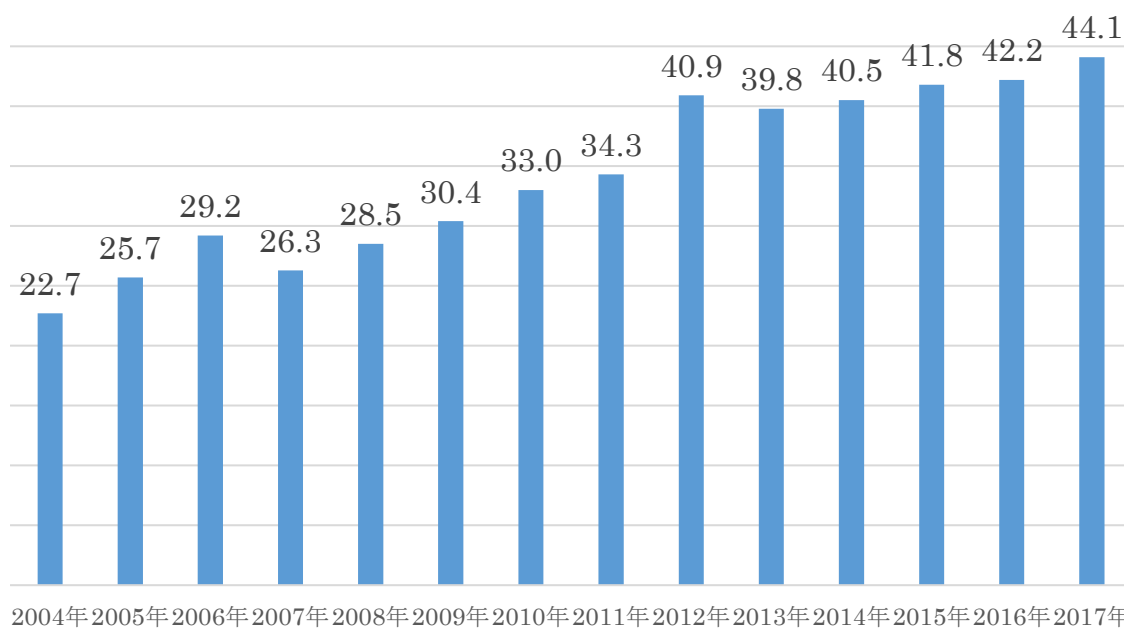


2004年からの推移でみると「伝統的な和型」が66.5%から28.9%減少し37.6%に、「シンプルな洋型」が22.7%から21.4%と約倍増し44.1%に、「デザイン墓」が7.3%も倍増して13.4%になった。

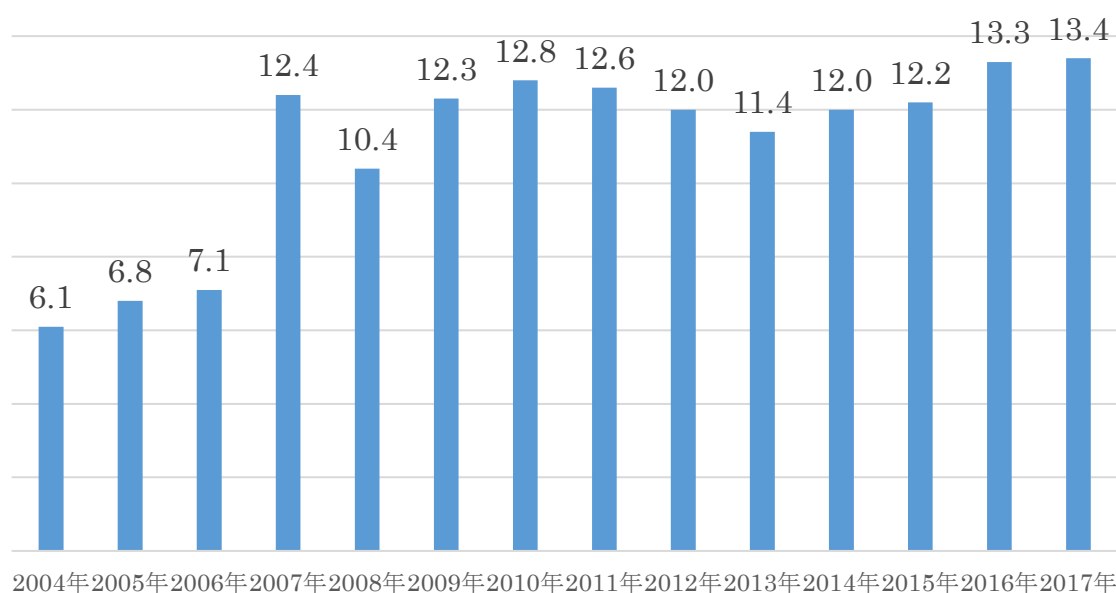
和型の減少傾向



シンプルな洋型の増加傾向



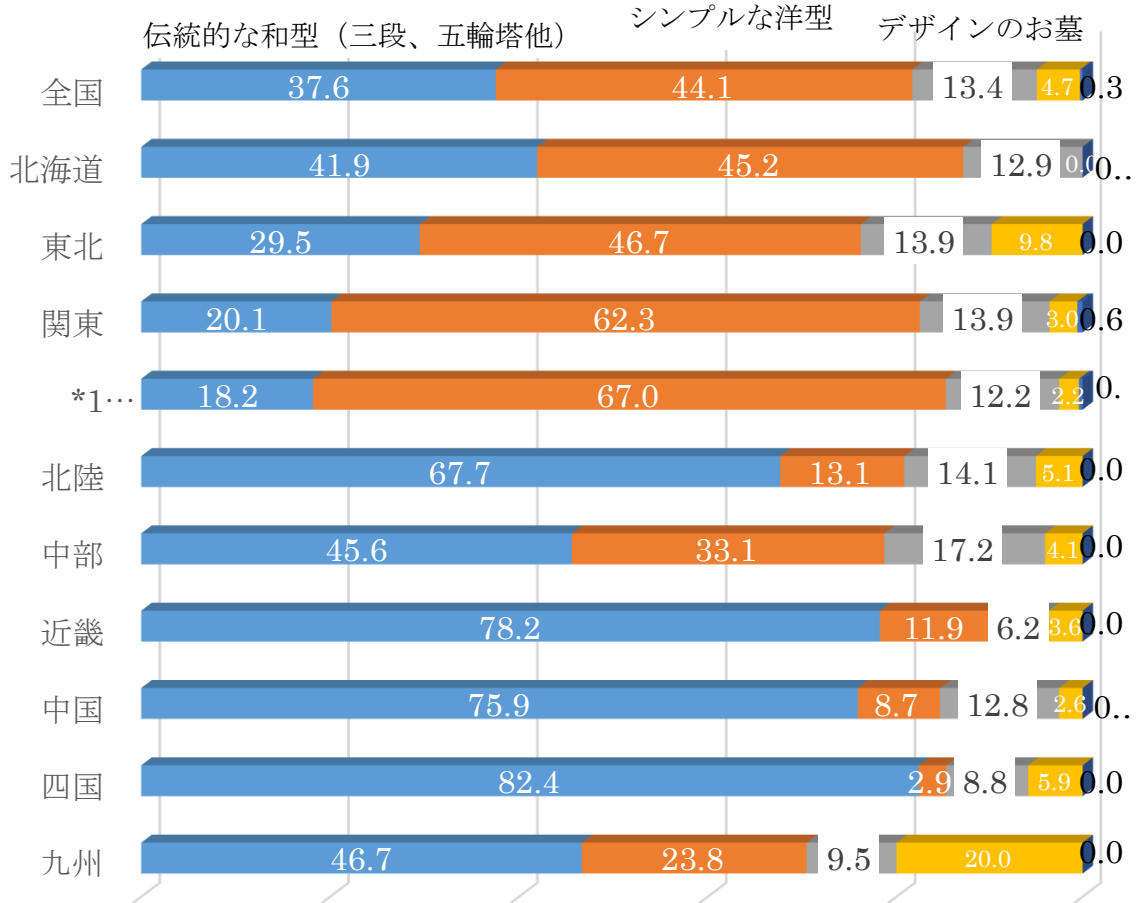
デザイン 墓石の増加傾向



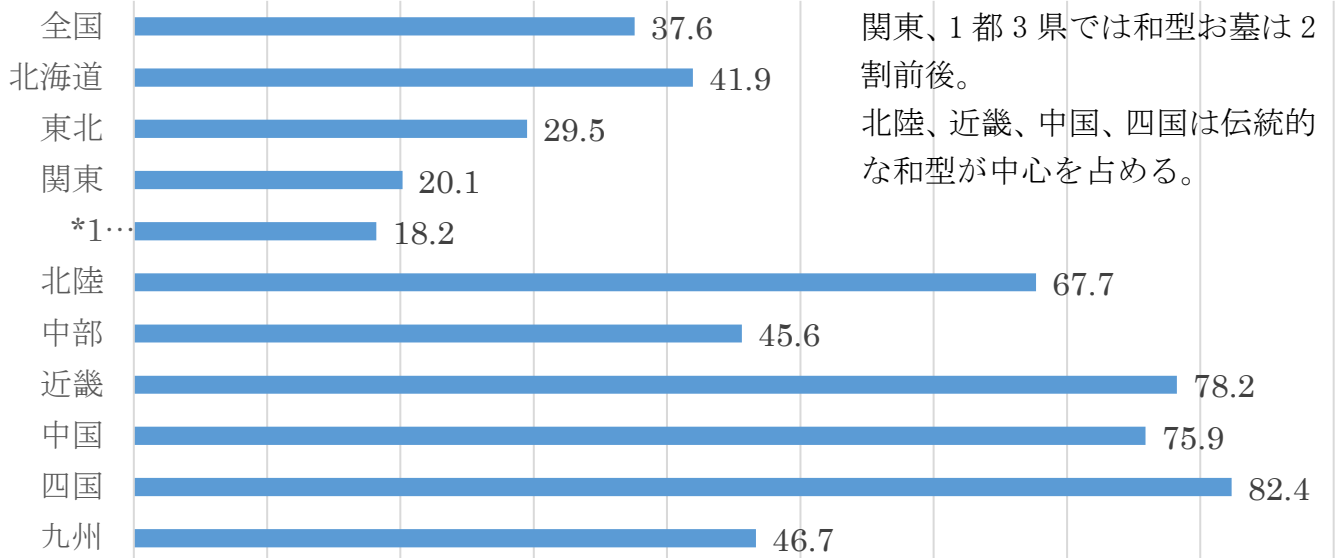
地域別にみても、新規建立お墓に占める伝統的な和型お墓の比率が高いのは、北陸、近畿、中国、四国などの西日本で、逆に1都3県、関東ではシンプルな洋型が6割を超え、伝統的な和型お墓は2割前後である。

また、デザインのお墓は中部が 17.2%と他の地域に比べて建立比率が高くなっている。

建てたお墓の地域比較

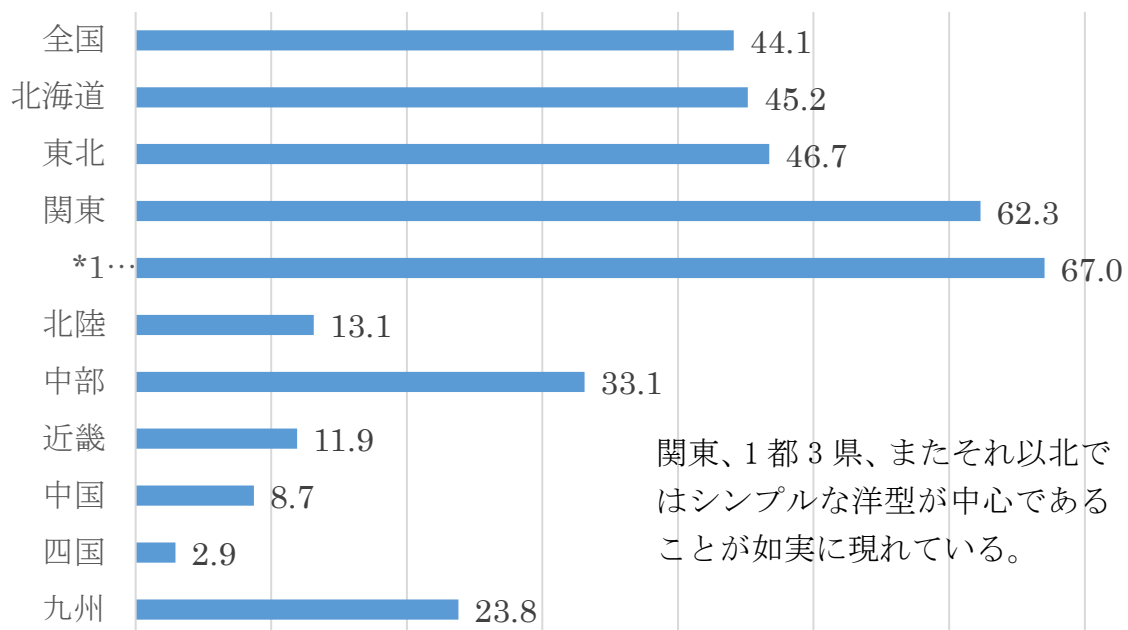


伝統的な和型お墓地域比較

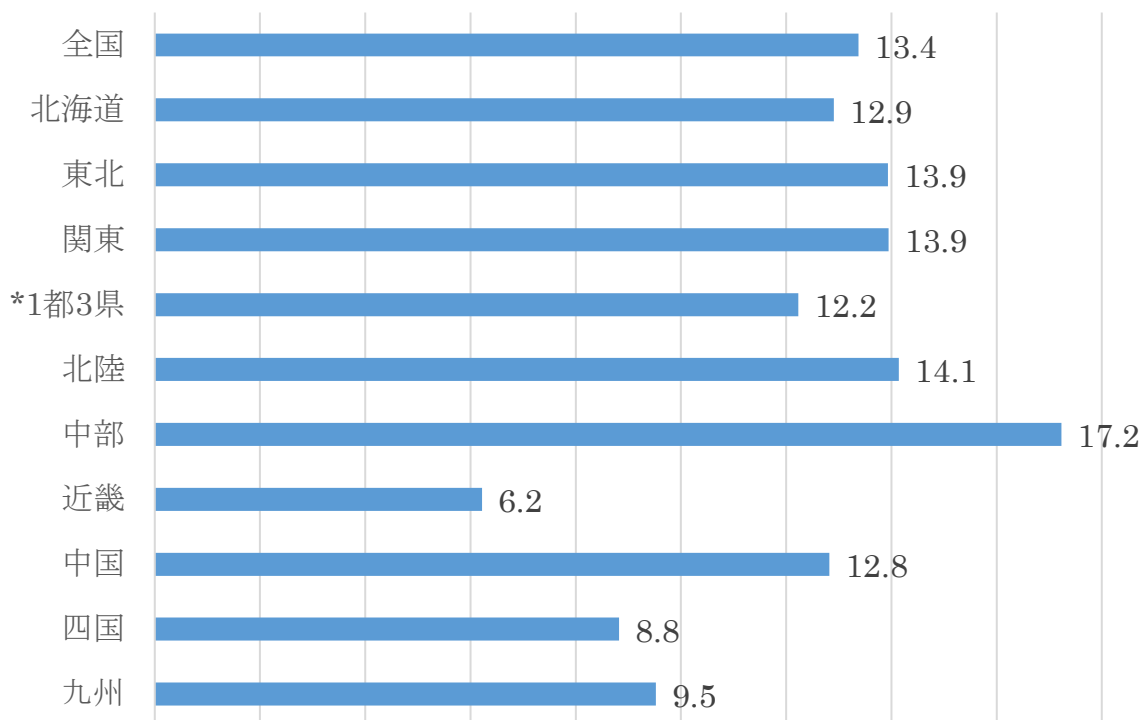


関東、1都3県では和型お墓は2割前後。
北陸、近畿、中国、四国は伝統的な和型が中心を占める。

シンプルな洋型お墓地域比較



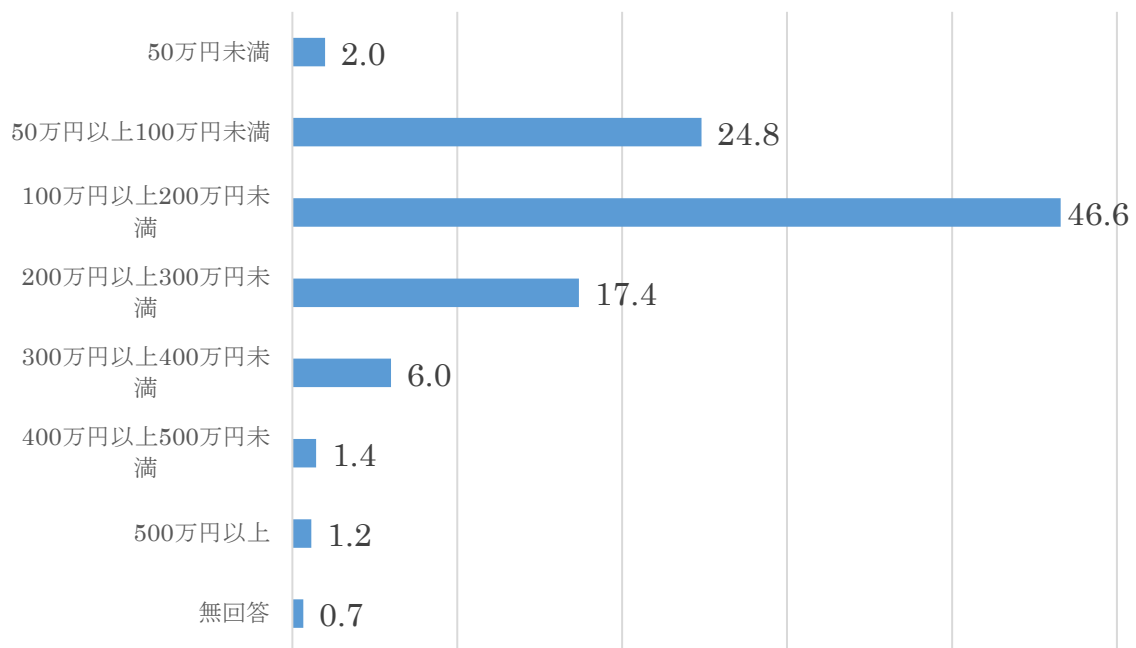
デザインのお墓地域比較



お墓の全国平均価格、昨年より 3.1 万円安い 167.3 万円
シンプルな洋型が最も安く 157.92 万円
地域別で最も高いのは九州で 222.09 万円、安いのは北海道で 133.87 万円

墓地取得費用を除いた墓石の購入金額では、100 万円～200 万円台が最も多く 46.6%と半数弱を占める。次いで、50 万円～100 万円が 24.8%、200 万円～300 万円が 17.4%であった。

2017年お墓購入価格（全国）

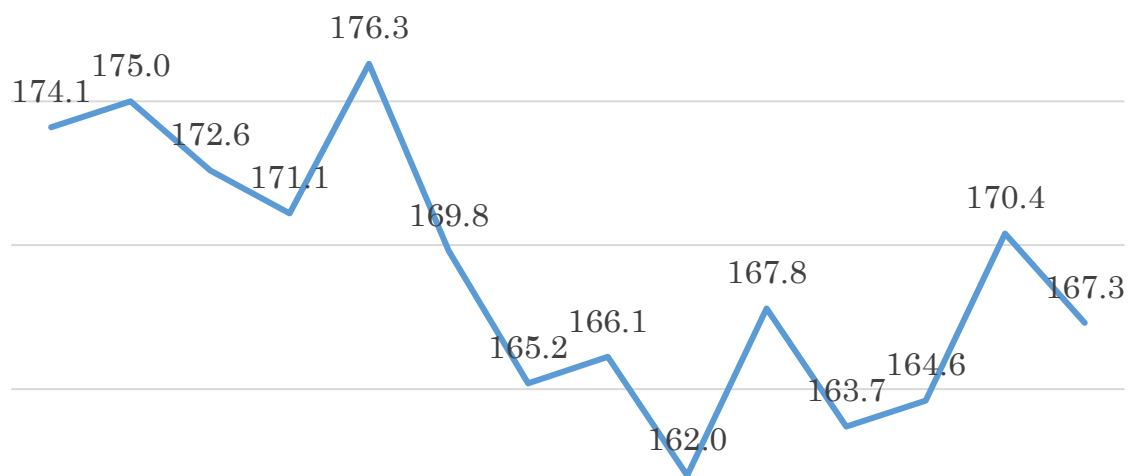


次にお墓の平均購入価格を計算してみると、全国平均で 167.3 万円となった。昨年の 170.4 万円よりも 3.1 万円のダウンとなる。

墓石タイプ別では、デザインのお墓の平均単価が最も高く 181.53 万円、次いで伝統的な和型のお墓で 174.01 万円、シンプルな洋型が最も安く 157.92 万円であった。

地域別にみても、最も高いのは九州の 222.09 万円、次いで四国で 189.71 万円、1 都 3 県の 175.22 万円、安いのは北海道の 133.87 万円であった。最も高い九州と最も安い北海道では 88.22 万円の開きがある。

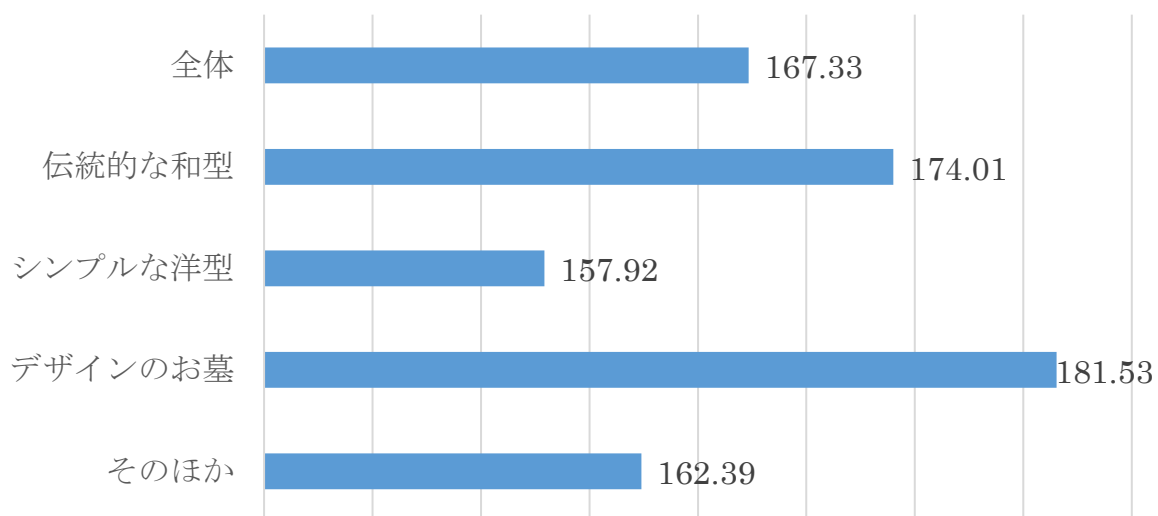
お墓購入の平均価格推移



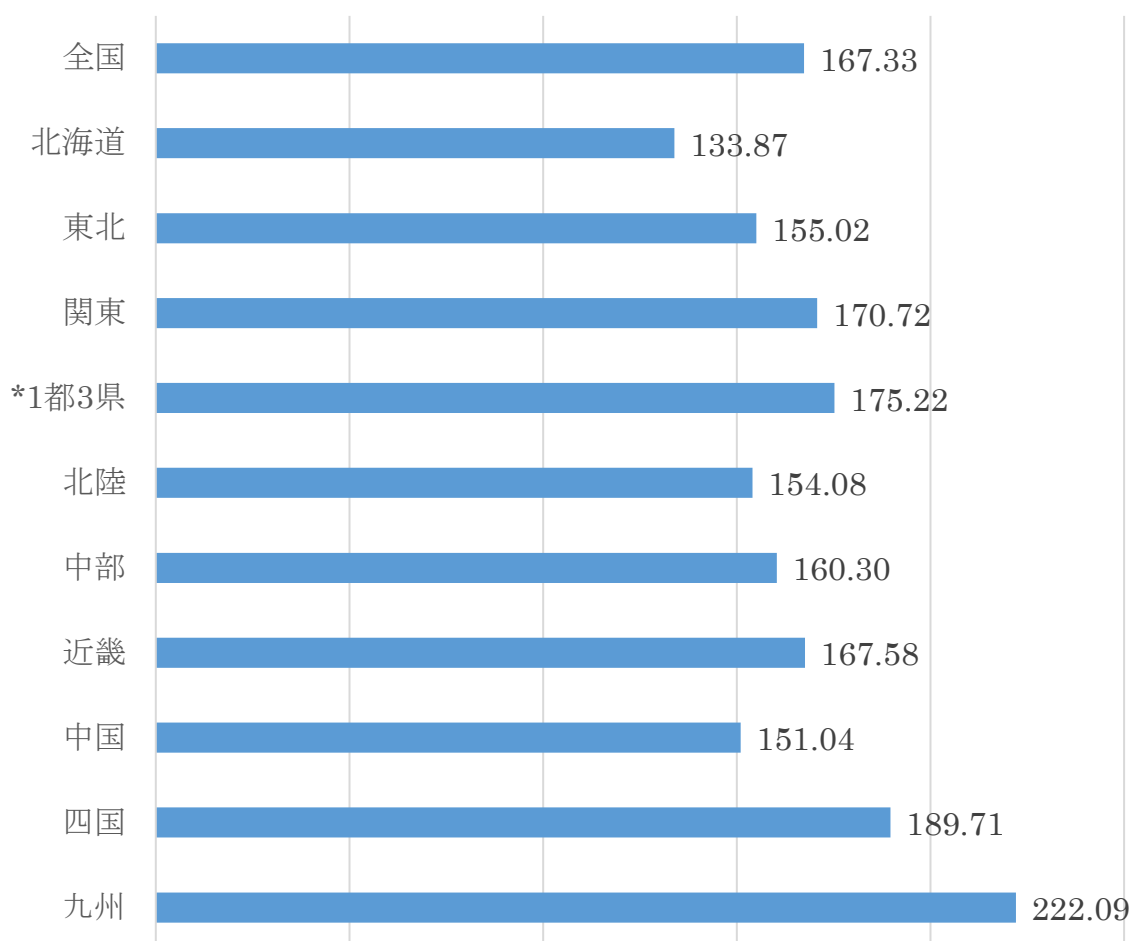
タイプ別では加工がしやすく、費用が比較的安い洋型が増えることによって、全体の平均価格を抑制している側面がありそうだ。

2004年 2005年 2006年 2007年 2008年 2009年 2010年 2011年 2012年 2013年 2014年 2015年 2016年 2017年

墓石タイプ別平均価格



地域別墓石平均価格



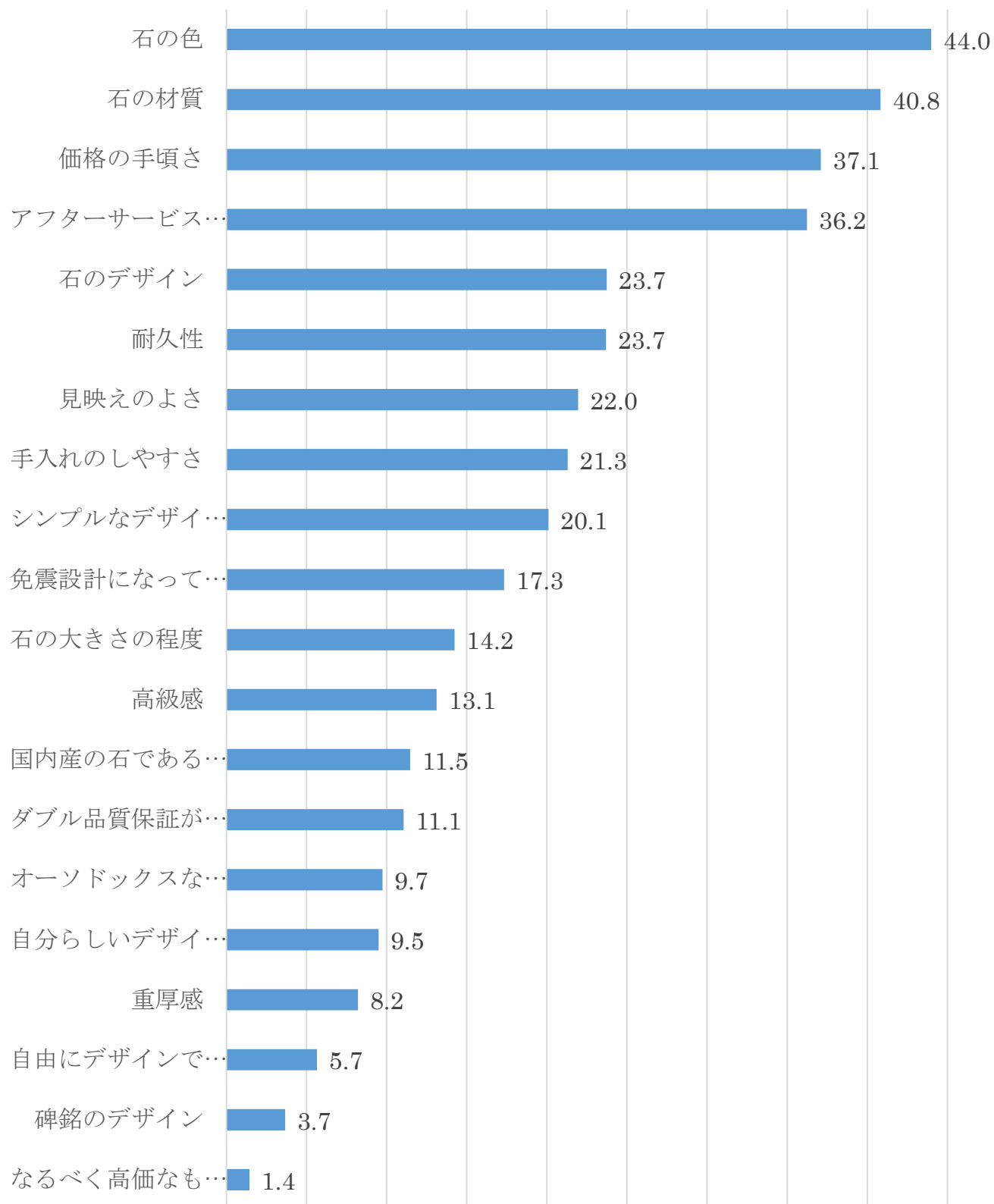
**墓石選びで重視①石の色、②石の材質、③価格の手頃さ
関東以北では「石の色」、「価格の手頃さ」、「石の材質」がポイント
北陸、中部以西では「アフターサービス」、「耐久性」や「国内産の石」にこだわり**

墓石選びで重視したことはという複数回答に対して、①石の色、②石の材質、続いて③価格の手頃さ、④アフターサービス、⑤石のデザインがあげられた。

地域別にみても、関東、1都3県以北では「石の色」、「価格の手頃さ」、「石の材質」が重要だとする一方、「石のデザイン」や「見栄えのよさ」を重視する傾向があるが、北陸、中部以西では「アフターサービス」、「耐久性」や「国内産の石」にこだわる傾向が伺える。特に四国では墓石選びで最も重視するトップは「国産の石」と回答している。硬くて耐久性に優れ、そのキメの細かさ、光沢、その石目の美しさから銘石とされる庵治石を産する四国ならではの回答と言えなくもない。

墓石タイプ別に重視点をみると、和型では「石の材質」「石の色」「アフターサービス」と続くのに対し、洋型、デザインのお墓では「石の色」重視、シンプルなデザイン、自分らしいデザインとともに、「見栄えのよさ」をあげる人が目立った。

墓石選びの重視点(全国)



墓石選びの重視点(地域比較)

北海道		東北		関東	
石の材質	35.5	石の色	50.8	石の色	45.5
価格の手頃さ	35.5	石のデザイン	38.9	価格の手頃さ	38.9
シンプルなデザイン	32.3	価格の手頃さ	38.5	石の材質	35.5
石の大きさ	29.0	石の材質	36.1	アフターサービス	32.1
手入れのしやすさ	25.8	アフターサービス	33.2	石のデザイン	24.6
アフターサービス	25.8	シンプルなデザイン	24.2	見映えのよさ	22.7
*1 都3県		北陸		中部	
石の色	47.3	石の色	52.5	石の色	48.3
価格の手頃さ	40.1	石の材質	50.5	石の材質	47.6
石の材質	34.4	アフターサービス	40.4	アフターサービス	40.2
アフターサービス	34.2	耐久性	32.3	価格の手頃さ	33.1
見映えのよさ	23.5	価格の手頃さ	27.3	石のデザイン	28.0
石のデザイン	23.2	免震設計	23.2	耐久性	27.0
近畿		中国		四国	
石の材質	49.7	アフターサービス	54.4	国内産の石	52.9
アフターサービス	39.9	石の材質	54.4	石の材質	47.1
価格の手頃さ	36.8	価格の手頃さ	38.5	アフターサービス	44.1
国内産の石	35.2	石の色	32.8	手入れのしやすさ	32.4
耐久性	35.2	国内産の石	29.7	石の色	32.4
石の色	32.1	石の大きさ	28.7	価格の手頃さ	29.4
九州					
石の材質	43.8				
石の色	43.8				
アフターサービス	36.2				
価格の手頃さ	34.3				
手入れのしやすさ	32.4				
耐久性	22.9				

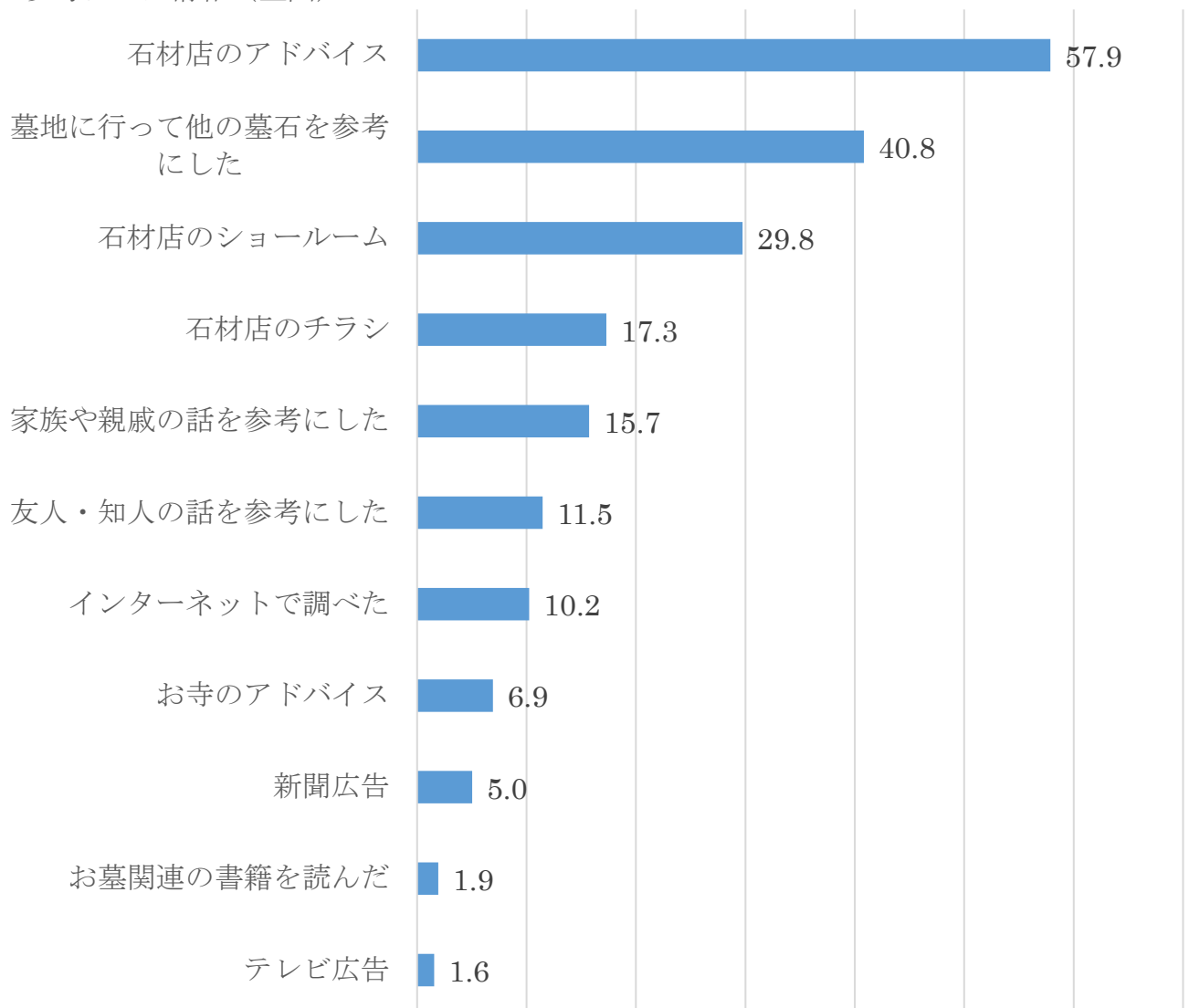
墓石選びの重視点(墓石タイプ別)

和型お墓		洋型お墓		デザインのお墓	
石の材質	51.5	石の色	47.6	石の色	46.6
石の色	41.2	価格の手頃さ	44.5	石のデザイン	43.2
アフターサービス	36.6	アフターサービス	37.0	石の材質	33.6
価格の手頃さ	34.3	石の材質	35.6	アフターサービス	33.3
耐久性	28.0	石のデザイン	28.9	自分らしいデザイン	26.5
国内産の石	25.1	シンプルなデザイン	28.4	見映えのよさ	24.1

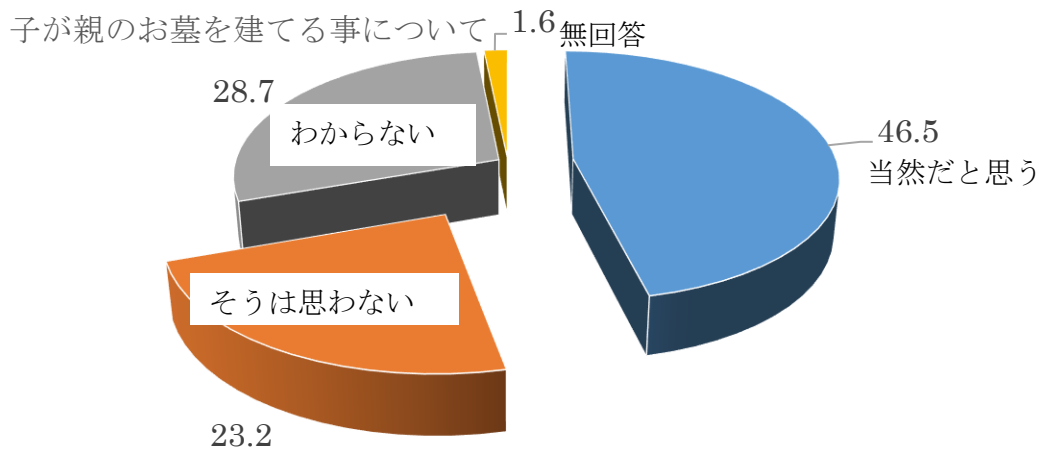
**お墓購入で参考にした情報トップは「石材店のアドバイス」が半数強
「墓地に行って他のお墓を参考にした」は4割**

「墓石を購入する際に参考にした情報は」の複数回答に対し、圧倒的に多かったのは「石材店のアドバイス」があげられた。滅多に経験しないお墓づくりでは、歴史と、知識、実績のある専門業者、石材店が最も頼りになる情報源となっている。次いで「墓地に行って他の墓石を参考にした」があげられた。わが目で見学、確認し、お墓づくりのイメージを膨らませる傾向は年々高くなっている。調査を開始した2014年では36.3%であったが4.5%多くなっている。3番目に「石材店のショールーム」があげられ、トップの「石材店のアドバイス」、4番目の「石材店のチラシ」と合わせて、石材店の影響力、情報発信力が大きいことがわかる。

参考にした情報（全国）

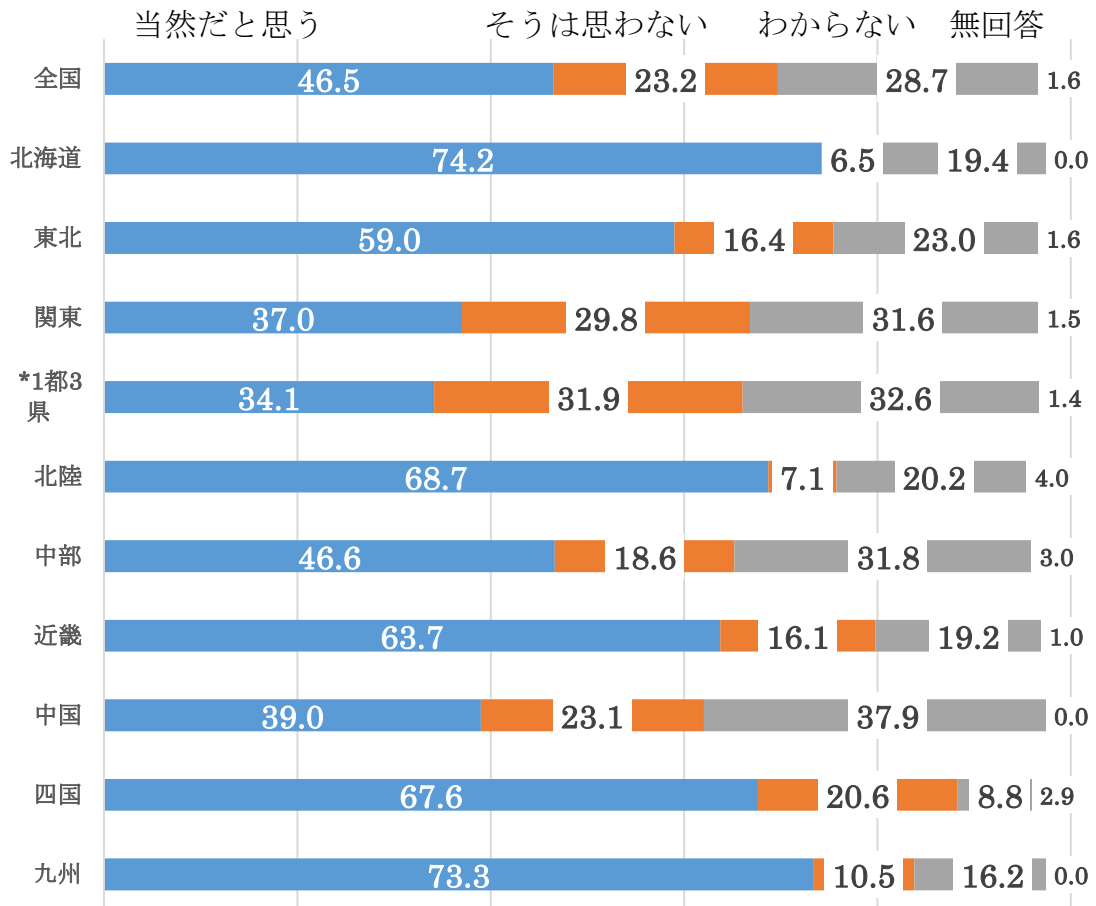


子が親のお墓を建てるのは「当然」が約半数弱の46.5%



今回初めて設定された質問項目である、「子が親のお墓を建てる事について」どのように思うか尋ねてみると「当然だと思う」が半数弱の46.5%、「そうは思わない」が23.2%、「わからない」が28.7%であった。

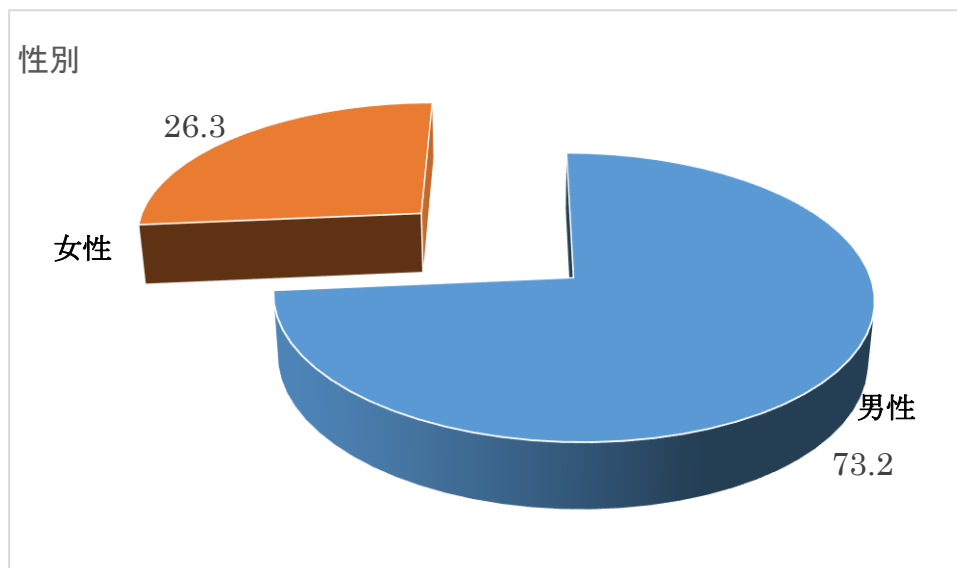
子が親のお墓を建てる事について



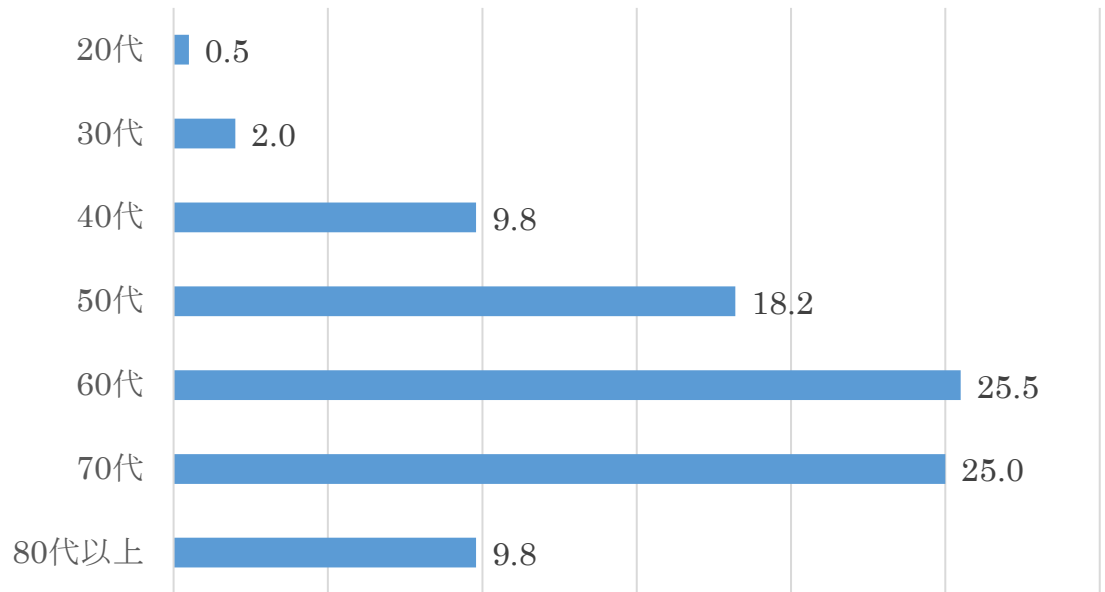
「子供に迷惑を掛けたくないので」と生前墓を建てようとする人が近年増えている。一方で、いっぱい愛情受け、育ててくれた親のお墓は子供が作るものという考えもある。あるいはそもそもお墓はすであるという人もいる。

「子が親のお墓を建てる事について」の考え方を地域別にみると、「当然だと思う」が最も多いのは、北海道、九州、北陸、四国。日本の南北で、「子が建てるべき」の考え方が多く見受けられ、関東や1都3県では「そう思わない」、「わからない」が多い結果になった。新規購墓地、また新規購入民間墓地購入比率の高い関東や1都3県では、残された子どもに負担をかけたくない、あるいは自分のお墓は自分でという考え方が強くなるようだ。

調査対象者のプロフィール（有効回答サンプルは 2,423 名）



回答者の年齢



回答者の地域

